

明治大学公共政策大学院への講師派遣について

【日 時】 平成28年10月25日(火)

【場 所】 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科
(駿河台キャンパス)

【科 目】 政策研究IX—H「地方自治論」

【説明者】 内閣府地方分権改革推進室 参事官 穴戸 邦久

【参加者】 7名

【概 要】

- 塚田桂祐兼任講師の司会進行の下、「自治と統治—地方分権の系譜と現在の取り組み—」と題し、地方分権改革のこれまでの取組、提案募集など最新の状況、地方分権改革による成果事例を講義した。
- 学生からは、「今後の地方分権改革は、住民参画・協働を展開する方向に進むべきではないか。」「地方分権改革においては、進めるべき分野と慎重にすべき分野があるのではないか。」「地方団体がより自主性をもって事務事業に取り組むためには、税財源の移譲が必要ではないか。」などの質問が寄せられ、活発な意見交換が繰り広げられた。
- そもそもなぜ地方分権改革が進められたか、根本に立ち返って学生が考える良い機会となった。

